

報告日 令和7年10月16日

報告回次 1日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	五霞町			代表者名	古郡健司
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	まちづくり戦略課	連絡先電話番号	0280-84-1111
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	矢島征幸	連絡先E-mail	
住所	306-0392 茨城県五霞町小福田1162-1				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	EBPM推進事業		
概要	町DX推進計画の強化取組事項5に掲げる「EBPMの推進」をするにあたり、職員研修を実施するために専門的知識をもっている地域情報化アドバイザーの支援を受け、職員の意識及びスキルの向上、業務の質を上げることが目的に実施します。				
支援を求める分野	EBPM（エビデンスに基づく政策立案）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1.

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年10月10日	支援・助言(オンライン)	14時00分	15時30分	
				活動時間（分）	90

2-2.

会場名	オンライン	最寄駅	オンライン
派遣場所	所在地	最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森 康通
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	令和8年2月4日に予定しているEBPM研修の開催にあたり、本町の現状の課題や取組みなどを丁寧にヒアリングしていただきました。 これまで本町において、職員研修を色々開催してきましたが、森氏ほど丁寧に聞いてくれた講師はいませんでした。 本町においてEBPM研修を実施することが目的ではなく、いかに実践で活用できるかを考えていると実感しました。
アドバイザーへの要望事項	令和8年2月4日に予定しているEBPM研修は、知識及び経験が少ない課長補佐・係長クラスで行いますが、EBPMへの取組みの動機づけにしたいと考えていますのでよろしくお願いします。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者

属性	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	2人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	2	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	事業の課題は、EBPM管理職の知識及びスキル不足、研修機会の不足、成果検証の仕組み不足、人材育成と業務負担の両立が困難です。また、本町は小規模自治体であり職員数が限られており、一人が担当する業務が複数ありEBPMを生かした政策立案が問題点となっています。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今回の支援では、令和8年2月4日開催予定のEBPM研修の事前打合せとなっており、現状の課題や当日の研修内容（対象及びどのような状態になってもらいたいか）について十分な打合せができたと感じています。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的に記入下さい)	1) EBPMとは、デジタルに詳しくない方にも分かるような内容。 2) データを活用するための3ステップ(自治体担当者つながる場での内容) 3) 実際に取組む動機づけ。自治体担当者つながる場での内容。 4) 事例紹介。実際の事例。効果的な指示の方法など。 これらを本町の実情を把握して分かるように伝えていただけるとオンラインで説明がありました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)	本町では、地域経済分析システム(RESAS:リーサス)や政府統計の総合窓口(e-Stat)は、実際に使えていない状況です。今回の研修で実際に操作してもらうにあたり、今回のオンライン打合せでちょっとした動機づけをしていただいたことが改善につながりました。令和8年2月4日開催予定のEBPM研修につなげたいと感じました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	具体的な成果物はありませんが、森氏との会話の中でデータ活用を意識していくことを実感しました。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)	令和8年2月4日開催予定のEBPM研修で成果を出したいと思っています。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果について記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由を記入下さい。	
	今回は、森氏と本町担当2人がオンライン打合せで行いましたのでアンケートを実施しませんでした。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
	令和8年2月4日開催予定のEBPM研修を予定しています。	
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今回の研修を実施することで、参加した方が日々の業務の中で、データ利活用に取り組む第1歩(今日からできる身近なデータ活用法)にし、実際に取組む動機づけにすることで、日々、EBPMを意識するようにしたいと考えています。その結果が、住民の満足度アップにつながると考えています。	
5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。		